



はじめに



子どもは、いつ急病にかかるかわかりません。

特に、日曜日・祝日・夜間など、

診療所や病院がお休みの時に、

急にお子さんの具合が悪くなったら

どうすればよいのか、迷うことはないでしょうか。

ここでは

「すぐに救急医療機関へ行くべきか？ 明日まで待つべきか？」

について、簡単なガイドをしています。

日ごろから、この部分を読み、

いざという時あわてず行動できるようご活用ください。

なお、ここでは、生後1か月から6歳くらいまでの

乳幼児のお子さんを想定しています。

この部分は岡崎市小児救急医療対策協議会が
制作したガイドブックを元にしています。

「急病時の対応」

次のページからフローチャートで、主に、日曜日・祝日・夜間を想定して
まとめています。

ねっ

38.0℃以上の発熱



3 か月未満

3 か月～6 歳

38.0℃未満でも、少し様子を見て
体温がさらに上がってくる場合は、
救急医療機関を受診してください。

- ① 元気がなく、ぐったりしている。
- ② おしっこが出ない。
- ③ 活気がない。
- ④ よく眠れずに、ウトウトしている。
- ⑤ 水分をとるのをいやがる。



救急医療機関
を受診してください。

1つでも
「はい」
がある

1つも
「はい」
がない

時間とともに、具合が悪くなったら
救急医療機関を受診してください。

明日の朝など、かかりつけ医に
診てもらってください。

熱がなくて(ふだんよりも体温が低い感じの時)、ぐったりしていて
水分も受け付けない時。

発熱時の対処法

- ・熱の出始めは温かめに!熱が出きったら涼しく!
- ・寒そうなら温かく、暑そうなら涼しくする。
- ・気持ちよさそうなら冷やす。
- ・熱があっても元気そうなら、解熱剤は使わない。

ねっ

ワンポイントアドバイス



看護の仕方

- わきの下の汗をふいてから体温を測りましょう
- 汗をかいたら体をふき、しめった衣服やシーツをかえましょう

- 食欲・元気さ・他の症状の悪化に注意しましょう

- 熱のために失われる水分を十分に補いましょう
- 手足が冷たく寒気があれば体を温め、温かな飲み物を与えましょう

- 風を当てないようにしましょう
- 高熱時は嫌がらなければ頭や首を氷枕・氷のう・おしぼりで冷やしましょう
- 室温・温度を快適にし新鮮な空気にかえましょう

- 朝晩の平熱を知っておきましょう
- こたつや電気毛布に暖まりながら測るのはやめましょう
- 熱に気づいたら30分後にも測りましょう
- 経過をみるため朝昼夕3回同じごろに測りましょう



- お子さんに合った解熱剤の使い方をかかりつけ医に確かめておきましょう

せき

せきがでる
ゼーゼーいう



- ① 声がかすれる。オットセイの泣き声みたいに咳き込む。
- ② ゼーゼー、ヒューヒューいう。
- ③ 息苦しそうである。
- ④ 呼吸がはやい。
- ⑤ 元気がとてもなく、ウトウトしている。
- ⑥ 水分をとりたがらない。
- ⑦ 口の回りや、くちびるが紫色となる。(いわゆるチアノーゼ)

1つでも
「はい」
がある



救急医療機関
を受診してください。

1つも
「はい」
がない

時間とともに、具合が悪くなったら
救急医療機関を受診してください。



明日の朝、かかりつけ医に
診てもらってください。

せき

ワンポイントアドバイス



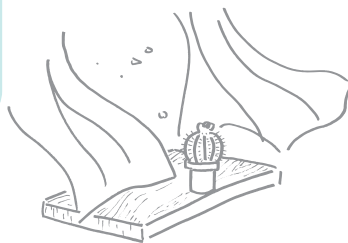
看護の仕方

- 急に激しく咳き込んだときは
口の中を見てみましょう,異物 (ピーナッツや玩具のかげらなど)
があるかもしれません



- 呼吸数・息づかい・顔色・手足の温かさ・爪の色を観察しましょう
- 咳き込むときは水分を少しずつくり返し与えましょう
- 咳で吐きそうなら固形食を控えましょう

- 部屋の乾燥を防ぎ、ほこりを立てないようにしましょう
- 煙・臭いをなくし、窓をときどき開け、新鮮な空気と入れかえましょう



けいれん ひきつけ

観察ポイント

- ① 「いつから」、「どんなけいれんが」、「何分間」?
- ② けいれんが、左半身、右半身だけの左右差がないか?
- ③ その時の「体温」は何度?

応急処置ポイント

- ① 顔を横向けにして、衣類をゆるめる。
- ② 体を揺すったり、たたいたりしない。



けいれん・ひきつけ

① けいれんが止まっても、意識がはっきりしない。(目が合わない、お母さんがわからないなど)

② くちびろの色が紫色で、呼吸が弱い。

① けいれんが5分以上続く。
② 初めてのけいれん。
③ 生後6ヶ月以下。
④ 6歳以上。
⑤ けいれん時、体温が38.0℃以下であった。
⑥ けいれんに左右差がある。
⑦ おう吐、失禁をとまなう。
⑧ 頭を打った。
⑨ 何度も、繰り返しけいれんが起る。

① すでに診断がついており、今までにも何度か起こったことがあるけいれん発作(てんかん)。

② 左右対称のけいれんが数分でおさまり、けいれんの後すやすやと眠ってしまい、その後いつもと変わらない。

③ けいれんかどうかわからない。



救急車を
呼ぶ!



救急医療機関
を受診してください。

1つでも
「はい」
がある

1つも
「はい」
がない

時間とともに、具合が悪くなったら
救急医療機関を受診してください。



明日の朝、かかりつけ医に
診てもらってください。

けいれん・ひきつけ

ワンポイントアドバイス



看護の仕方

○まず時計を見て、ひきつけの持続時間と何をしていてひきつけたかメモしましょう

○目の向き・体の固さ・ぴくつきに左右差がないか確かめましょう

○顔色・息づかい・手やツメの色を確かめましょう

○体温を繰り返し測って経過をメモしましょう

○意識を戻そうとゆすったり声をかけたりしないで、衣服をゆるめ寝かせましょう

○発作後ぐったりして目を閉じていたら、呼びかけや痛み刺激で目を覚ますか嫌がる反応があるかみましょう

○吐き気があればむせないように体を横にむけましょう

○意識が回復するまで必ず付き添いましょう

○吐物やよだれはすぐふき取りましょう

○舌をかまないようにと口の中へ物を入れるのは危険ですのでやめましょう

○薄暗くした静かな部屋で休ませましょう

○発作後は普段と変わりがなければ観察しましょう



お腹が いたいとき

お腹がいたい



- ① 押すと強く痛み（がり）、お腹を硬くする。
- ② 激しく泣いてしばらく泣き止むことをくり返す。
- ③ お腹が硬く張ってきた。
- ④ 便に血液が出た。
- ⑤ 赤い尿が出た。
- ⑥ おなかを激しくぶつけた。
- ⑦ おまた（陰のう、股のつけね）を痛がる。
- ⑧ コーヒーの残리카すのようなものを吐いた。

1つでも
「はい」
がある

1つも
「はい」
がない



救急医療機関
を受診してください。

時間とともに、具合が悪くなったら
救急医療機関を受診してください。



明日の朝、かかりつけ医に
診てもらってください。

お腹がいたいとき

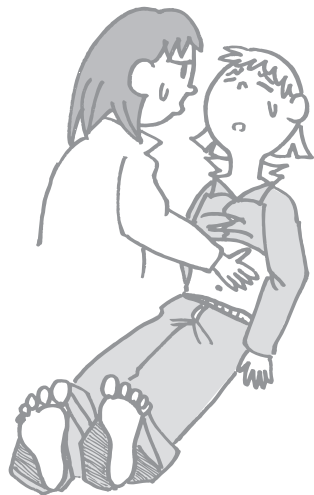
ワンポイントアドバイス



看護の仕方

- お腹を触って痛む所を確かめましょう
- お腹を締めつける衣服はやめましょう

- 痛み方の様子・息の臭さを観察しましょう



- 排便で治ることがあります。トイレへ行かせてみましょう
- 排便がなければ浣腸してみましょう

- 食事は吐き気に注意して温かな飲み物を少量ずつ与えましょう
- 食べ過ぎや風邪の際は、お腹を温めてみましょう

げり(下痢)



げり

3か月未満

3か月～6歳

- ① 元気がなく、ぐったりしている。
- ② 長時間、おしっこが出ない。
- ③ おう吐がある。
- ④ 38.0℃以上の発熱。
- ⑤ くちびるや口の中が乾燥している。

- ① 元気がなく、ぐったりしている。
- ② おしっこが出ない、色の濃いおしっこをする。
- ③ 活気がなく、だるそうにしている。
- ④ よく眠れずに、ウトウトしている。
- ⑤ 水分をとるのをいやがる。
- ⑥ 目がくぼんでいる。
- ⑦ くちびるや口の中が乾燥している。

1つでも
「はい」
がある

1つも
「はい」
がない



救急医療機関
を受診してください。

時間とともに、具合が悪くなったら
救急医療機関を受診してください。

明日の朝、かかりつけ医に
診てもらってください。

げり(下痢)

ワンポイントアドバイス



看護の仕方

- げり便の回数・性状(血便・粘血便、水様便、臭い)、おしっこの回数をメモしましょう
- 変わった便は受診の際持参しましょう



- お腹を冷やさないようにしましょう
- 食物・水分の摂取量をメモしましょう
- 発熱、発疹、顔色、元気さ、手足の温かさをみておきましょう

- 便を扱ったらすぐ手を洗いましょう

発疹

(その1)

皮膚の
ブツブツ・ポツポツ
(発疹)



かゆみがある

発熱がある

薬を飲んだあと
に発疹が出た。

盛り上がった
リング状の輪
っかがたくさん
出てきた。

顔やくちびる
がはれぼった
くなった。
息苦しく、声
がかすれてき
た。

暗い紫色の小
さなテンテン
が、足のひざ
から下に出て
いる。
鼻出血や関節
を痛がる。

考えられ
る病気

薬 疹

じんましん

紫 斑 病
血液疾患



救急医療機関 を受診してください。

発疹

(その2)

皮膚の
ブツブツ・ポツポツ
(発疹)



かゆみがある

発熱がある

皮膚のブツブツにうみや汁がある。

小さな水ぶくれがポチポチと出てきた。

皮膚に小さな赤いブツブツがいっぱい出て、舌にイチゴのようなブツブツがある。

きげんが悪く、目が赤く、くちびるも赤く、舌にイチゴのようなブツブツがある。

リンゴのような赤いほっぺたになった。

発熱4日目ごろから、皮膚のブツブツが始め、目やに、せきがひどく、元気がない。

考えられる病気

とびひ

水ぼうそう

溶連菌感染症

川崎病

伝染性紅斑(リンゴ病)

はしか(麻疹)

明日の朝など、かかりつけ医に診てもらってください。



時間とともに、具合が悪くなったら

救急医療機関を受診してください。

吐く

ひんぱんに吐く



生後3か月未満の赤ちゃんで、母乳、ミルクのたびに勢いよくおう吐を繰り返す。

- ① お腹がはっていて、ぐったりしている。
- ② がまんできないほどの、激しい腹痛を訴える。
- ③ 血液や胆汁（緑色の液体）を吐く。
- ④ 活気がなく、無気力。
- ⑤ いつもと違う様子である。
- ⑥ げりが12時間以上続いて、ぐったりしている。
- ⑦ おしっこが出ない。
- ⑧ くちびるが乾いて、ぐったりしている。
- ⑨ 頭痛を訴えており、ウトウトしていたり、ちょっとした刺激に過敏に反応する。



救急医療機関
を受診してください。

1つでも
「はい」
がある

1つも
「はい」
がない

時間とともに、具合が悪くなったら
救急医療機関を受診してください。

明日の朝、かかりつけ医に
診てもらってください。

「事故のとき」



ごいん 誤飲

間違えて何かを食
べたり飲み込んで
しまった。

観察ポイント

- ① 意識はどうか？
- ② 呼吸は規則正しいか？
- ③ 顔色はよいのか？
- ④ おう吐はしていないか？
- ⑤ 「何を」、「どれくらい」、「いつ」飲んだか？

誤 飲



- ①意識がない。
②けいれんを起こしている。

意識はある。



救急車を呼ぶ！

灯油、ベンジン、
マニキュア、除
光液、アルカリ、
洗浄剤、酸、漂
白剤、樟脳（しょうのう）、ボタン
電池など

吐かせない！



救急医療機関
を受診してください。

たばこ、ホウ酸
団子、ナフタリ
ン、パラジクロ
ルベンゼン、大
量の医薬品など

すぐ吐かせる！

化粧品、シャン
プー、芳香剤、
石けん、マッチ、
クレヨン、シリカ
ゲル、粘土、保
冷剤、体温計の
水銀、植物活力
剤など

異物をできる限り
取り除き、しばら
く様子を見る。

時間とともに、具合が悪くなったら
救急医療機関を受診してください。

●どう対処したらいいかお困りのときは

(財)日本中毒情報センター110番 つくば w 029-852-9999 午前9時～午後9時
// 大 阪 w 072-727-2499 24時間対応

※ つくば及び大阪110番では食中毒（細菌性）、慢性の中毒、小石、ビー玉などの
異物誤飲については受け付けていませんので、最寄りの医療機関へご相談下さい。
たばこ専用（テープによる情報提供） w 072-726-9922 24時間対応

※通話料は相談者負担となります。

事故防止

- ・口に入る大きさのものや、飲んで有害なものは、手の届かない安全な場所にしっかりしまっておきましょう。
- ・引き出しなどは、鍵をつけたりして開けられないようにしましょう。

やけど

観察ポイント

- ①「何で」、「範囲はどれくらい」、「皮膚の状態は」？
- ②やけどは範囲と深さが重要で、深さは第1度～第3度に分類される。
〔第1度〕皮膚の表面が赤くなっているが、水ぶくれにはなっていない。
ヒリヒリする。
- 〔第2度〕水ぶくれ（水泡）ができています。焼けるような強い痛み。
- 〔第3度〕皮膚が黒く焦げていたり、白くなっている。あまり痛みは感じない。

応急処置ポイント

- ①流水（水道水を流しながら）でも、氷でもよいので、とにかく冷やす。
- ②冷やす時間は、最低20分～30分以上。
- ③衣服などは無理に脱がさず、服の上からそのまま冷やす。
- ④水ぶくれ（水泡）はつぶさない。
- ⑤受診するまでは、何も塗らない。



やけど

まずは、とにかく冷やす！

- ①皮膚が黒く焦げていたり、白くなっている。〔第3度〕
②全身または広範囲。



救急車を呼ぶ！

- ①水ぶくれ（水泡）ができています。〔第2度〕
②範囲がやけどした子どもの手のひらより広い。



救急医療機関

を受診してください。

- 範囲が狭く、赤いだけで水ぶくれにはなっていない。〔第1度〕

じゅうぶん冷やして、明日の朝、かかりつけ医の先生に診てもらってください。

事故防止

- ・ポット、アイロン、ライター、マッチなどは、手の届かない安全な場所に置きましょう。
- ・テーブルクロスを引っ張り、湯茶などがぶれることもあるので、テーブルクロスは使用しない又はしっかりとめておくようにしましょう。
- ・ストーブやファンヒーターに触れないよう、柵を設けましょう。
- ・こたつ、電気毛布、電気カーペットなどは、長時間触れると「低温やけど」をする危険性があるので、寝かせたあとはスイッチを切るようにしましょう。

おぼれた

おぼれた
溺 水



すぐに水から引き上げる！

①意識がない。
②ぐったり
している。

①顔色が悪い。
②ぼんやりしている。
③泣かない。

①引き上げてすぐに
大声で泣く。
②意識がしっかり
している。



救急車を呼ぶ！



救急医療機関
を受診してください。

1つでも
「はい」
がある

1つも
「はい」
がない

時間とともに、具合が悪くなったら
救急医療機関を受診してください。

安静に寝かせて、
しばらく様子を見る。

事故防止

- ・乳幼児のおぼれ事故の多くは、家庭内で起こっています。
- ・浴槽、洗濯機はふたを閉め、水は抜いておくようにしましょう。
- ・トイレの便器もふたを閉め、ドアをしっかり閉めましょう。

転倒 転落

(頭を打った)



転倒・転落
頭を打った

- ①意識がない。
- ②ぐったりしている。
- ③けいれんを起こした。



救急車を
呼ぶ！



救急医療機関
を受診してください。

- ①吐く。
- ②耳や鼻から出血がある。
- ③泣かない。
- ④顔色が悪い。
- ⑤ぼんやりして、ウトウトしている。

1つでも
「はい」
がある

1つも
「はい」
がない

- ①すぐに泣き出し、泣き止んだあとは、きげんがよい。
- ②意識がはっきりしている。

時間とともに、具合が悪くなったら
救急医療機関を受診してください。 ← しばらく様子を見る。

事故防止

- はさみ、鉛筆、箸（はし）、棒など先のとがったものを持って転倒すると危険です。手の届かない安全な場所にしっかりしまっておきましょう。
- 階段は、上がれないように、柵を設けておきましょう。
- ベランダや窓の近くに、踏み台になるようなものを置かないようにしましょう。

頭を打ったとき

知って安心 Q&A



Q1 コブができた場合にはどのようにしたらよいですか？

A1 20分ほど、タオルの上から氷のうなどで冷やして様子をみてください。

Q2 頭に出血が見られたら、どうしたらよいですか？

A2 清潔なタオルやガーゼなどで出血している部分を上からしっかり圧迫して受診しましょう。

Q3 頭を打った後に吐くのは、頭の中に異常があるからではないのですか？

A3 子どもは大人と違っておう吐しやすい特徴があります。頭を打った後に頭の中に何も異常がなくても吐くことがよくあります。1～2回吐いてもその後元気にしていればあまり心配がないことが多いです。

Q4 頭を打った後はいつまで様子を見ればよいのですか？

A4 後から脳に何か起こるのではないかと心配するご家族が多いのですが、子どもの場合、後から脳に重大なことが起きる可能性は大人と比べるとまれなことです。頭を打ってから2日程度様子を見て何も症状が出なければ安心してよいでしょう。

鼻血



鼻 血

応急処置ポイント

- ① あわてないで!
- ② 寝かせず、体を起こして座らせ、下を向かせる。
- ③ 小鼻の少し上あたりをつまんで押さえ止血する。
- ④ 鼻呼吸ができない状態で、約15分持続的に圧迫する。

それでも、出血が止まらない。



救急医療機関
を受診してください。

間違った処置

- 上を向いて寝かせると…
鼻血がのどへ流れ落ちて咳を引き起こしたり、血液を飲み込んで、吐き気の原因になるので、避けましょう。
- 鼻のなかにティッシュペーパーなどを挿入すると…
鼻粘膜を傷つけたり、ただれてしまったり、ティッシュペーパーを取り出す時に、固まった血液のカサブタをはがすことになり、再び出血する可能性が高くなるので、避けましょう。

子どもの事故の防ぎ方

子どもの命を守るのは大人の責任です。

事故防止には最大限の注意を払い、命に関わるような事故は絶対に防がなければなりません。

子どもの目の高さで周囲を見回して、危険なものがないか常に確認しましょう。

子どもからできるだけ目を離さないようにすることが大切です。

月齢・年齢別で起こりやすい事故

月齢・年齢	起こりやすい事故	予防のポイント
新生児～6ヶ月	窒息事故	●寝具の環境を整える。 ・布団は固めのものを選ぶ。 ・タオルや布団で赤ちゃんの顔を覆わないようにする。 ●添い寝をしながら授乳をしない。 ●うつ伏せ寝はさせない。
	転落事故	●少しずつ動いて移動していることがあるので、ベッドの柵は必ず上げておく。
7～11ヶ月	転落・転倒事故 (縁側・玄関・ベビーカー・階段からの転落など)	●ハイハイやつかまり立ちができ、動き回るようになり、いろいろな事故が起こりやすくなるので、転落防止柵を設置するなど、あらかじめ家庭内の安全対策を行う。
	やけど 誤飲・中毒	●子どもの身の回りや手の届くところに、やけどや誤飲につながるようなものは置かない。
1歳～4歳	溺水	●浅い水でもおぼれることがあるので、浴槽の水は全て抜いておく。 ●風呂のふたの上で遊んだりするので、風呂場には鍵をかけておく。
	転落事故	●ベランダに踏み台になるものを置かない。
	交通事故 誤飲・中毒	●危険なことをした場合には毅然とした態度でしかなど安全のしつけをする。 ●外出時、危険な場所では手をつなぐなど目を離さない。

こんなところで 事故が起きています。



●洗濯機

水を入れたままにしない。
ふたを開けられないようにする。



●トイレ

子どもだけで入れない
ようにする。



●洗剤

手の届かない
ところに置く。



●お風呂場

浴槽に水を入れておかない。
浴室に鍵をつける。



●サッシ・引き戸・網戸

手をはさまないように工夫する。
転落しないように注意する。

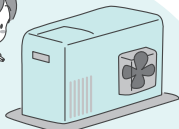


●ベランダ

踏み台になりそうな箱
は置かない。

●ストーブ

ふれないように
柵をする。



●アイロン

手の届かない所
に置く。



●おつまみ・ボタンなど

ピーナッツ・あめ玉などは手の届
くところに置かない。



●テーブルクロス

使用しない、又はしっかりとめておく。

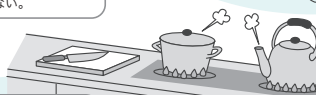
●流しの下

扉が開かない
ようにする。



●鍋・フライパン

やけどする調理器や熱い
料理の入った物は注意。



●ポット

手の届かない所
に置く。

